

海業の事業計画骨子【愛媛県愛南町】 ①



1. 現状と課題

【地域・水産業の現状と課題】

- 愛南町は愛媛県の最南端に位置し、平成16年10月に南宇和郡の旧5町村が合併して誕生。
- 町内19の漁港は、カツオの一本釣りや、マダイやブリの養殖、真珠母貝・真珠養殖など、多種多様な水産業が営まれている。
- 【海業に取り組むにあたっての背景】
- 松山市から150kmと遠い立地にあるが、町の入口部まで延伸される高規格幹線道路の開通後を見据え、町の地域資源である海を活用した活性化が急務である。
- 水産業は町全体の生産額の約3割を占め、町外から所得を獲得する、町の基幹産業となっている。一方、食料品製造加工、卸売、宿泊・飲食サービス等は町外に所得が流出しており、その結果、町の総生産の半分に該当する所得が町外に流出している。そのため一人当たりの地域住民所得も全国平均を下回っており、水産業を中心とした町内取引の活発化が必要である。
- 水産エコラベル認証を取得している持続可能な養殖業や、ブルーカーボンプロジェクト、漂着ごみ、へい死魚・加工残渣の回収・再資源化など、サステナブルな取組をさらに前進させる基盤の整備や着地型観光メニューの造成が求められている。
- 集客拠点同士の連携や担い手不足が課題であるため、各拠点を結ぶネットワークづくりにより、観光客と従業員双方の満足度を高める必要がある。
- 地場産品や地域の魅力について、効果的な情報発信を行うための手法・基盤づくりが望まれている。

■ 検討対象の主要5漁港



■ 愛南町の所得循環構造 ※所得を獲得しても、地域外に流出している経済構造



2. 検討体制

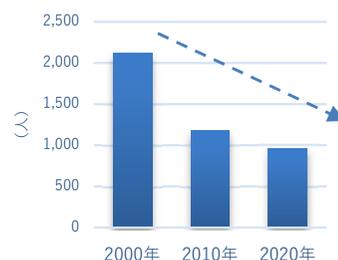
愛南町海業推進会議

- ・漁業・養殖業者
- ・漁協職員
- ・農林業者
- ・商工会職員
- ・飲食・サービス事業者
- ・宿泊・旅行事業者
- ・レジャー事業者
- ・廃棄物処理業者
- ・学校教育関係者
- ・大学・研究機関
- ・金融機関関係者
- ・メディア関係者
- ・行政職員

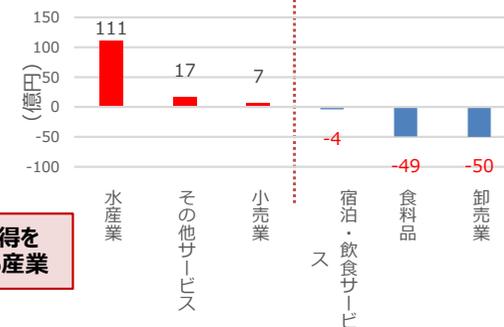
計25名

オール愛南町による検討推進

■ 愛南町の漁業者数の推移 ※20年間で54.7%減少



■ 愛南町の産業別純移輸出額（経常収支の内訳）



域外から所得を獲得している産業

域外に所得が流出している産業

※宿泊・飲食サービス、食料品、卸売業は域外からの調達が多い

3. 海業の方針

【基本理念】

- 大消費地から遠く離れた過疎地域であり、水産業などの一次産業が基幹産業である町として、超高齢化や人口減少という課題も視野に含めた**総合的なまちづくり政策**として進める。（すべてが海業につながる）
- 持続的な取組を実現するため、**町内のステークホルダーを主体とした議論や組織の立ち上げ、事業の実施**を町役場がサポートする。

【海業振興による地域経済活性化の可能性】

- 愛南町の最大の強みである「海」「水産業」を活かして、町内の各産業と水産業との域内取引を活発化することで、地域内での所得の好循環が起こり、地域の所得が向上する可能性** →**町内産業の「総海業化」**
- 特に、食料品加工、卸売業は、漁業に近い産業であるものの、いずれも50億円近くが域外に流出しており、これを抑えることによる地域経済への効果は大きい。

【漁港施設等活用推進計画の立案及び漁港水面施設運営権の設定等】

- 令和5年度に町内のステークホルダーの議論によって作成される**グランドデザインに基づく漁港施設等の利活用**と、**漁港水域占用の新規案件**が見込まれることから、令和6年度中に漁港施設等活用推進計画の立案及び漁港水面施設運営権の設定等について検討する。

4. 海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果

愛南町では、令和5年度に「海業グランドデザイン」を策定し、海業の振興の一層の推進を目指すこととしている。
グランドデザインの中に位置付けられた取組は以下のとおり。

① 愛南海業コンシェルジュ Umidas（海業推進会議委員を中心としたメンバーで構成される団体）

町の海業を推進するための中間支援組織（海業コンシェルジュ）を組織し、事業者同士のマッチングや事業のコンサルティング、新商品開発等のコーディネート活動をを行う。
また、愛南町の海業の周知活動を行い、理解者や協力者を増やし、より一層の海業の推進を目指す。

② インバウンド！AINANツアー生成（西海観光船、民間事業者、愛南町（商工観光課））

外国人観光客向けに海の体験・宿泊・食べ物・環境保全を掛け合わせた観光プログラムを、造成する。

③ 愛南町盛旬満喫スタンプラリー（愛南びやびや広め隊（町内飲食店5店舗等による団体））

愛南町内の海業関連施設（観光施設、産直市、観光地・景勝地、宿泊施設等）で商品やサービスを購入するとスタンプを獲得し、豪華賞品と交換できるスタンプラリーを実施。
地域の様々な業種との接点を生み出し、地域経済の活性化を目指す。

④ 愛南町ブルーカーボン創出プロジェクト（愛南漁業協同組合、愛媛大学、愛南の藻場を守る会、愛南町ほか）

真珠母貝養殖業者が行う筏の海藻除去活動がブルークレジット認証を受けたことや、藻場を食害するガンガゼウコを採捕し、町内の特産品であるブロッコリーと、河内晩柑を餌として与えて、食味を改善し販売すること等の環境保全活動を拡大することにより、地域外の所得を獲得する。

⑤ 愛南ぎょしょくツーリズムプロジェクト（愛南町ぎょしょく普及推進協議会事務局（愛南町役場）、民間事業者）

現在実施している「ぎょしょく」教育プログラムを分析し、一般来訪者向けに体験プログラムとして提供する。海の恵みへの感謝と海洋環境保全に対する意識を惹起する体験の提供により、交流人口の増加と未来の海洋人材の育成を目指す。